

[26_04]九州大学大型計算機センター広報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1470234>

出版情報：九州大学大型計算機センター広報. 26 (4), 1993-07-26. 九州大学大型計算機センター
バージョン：
権利関係：

ライブラリ室だより ～戦慄のプログラム相談室潜入ルポ～

皆さん、お元気ですか？

ライブラリ室の面々も、梅雨空のうっとおしさにもめげず、元気ががんばっています¹。ライブラリ室では、常日頃からセンター利用者の立場を理解し、よりスムーズな計算機利用の手助けをと努力しています²。その情報収集方法のひとつと言っては何ですが、私（筆者）は、約1年前、ひよんなこと³からご指名を受け、現在プログラム相談員をやっています。

皆さん、プログラム相談室（通称プロ相室）はご存知ですか？センター2階のトイレの横にあるガラス張りの部屋と言えわかるかな。ここは、月曜日から金曜日の午後1：30～5：30まで、時には騒々しく、時には張りつめた緊張感につつまれて⁴、黙々と存在し続けている部屋です。その中には、老若男女約20名の相談員が交代で待機しています。相談員は、もちろん専門的な知識をもって仕事に専念されているわけですが、やはり人間、相談への対処のパターンも色々あるようです。我がセンターのプログラム相談員の方は、論理思考型、詭弁型、逃避型など様々な人員が勢ぞろいしています。推理小説のように、知的・論理的に問題解決の糸口に詰め寄る方法、思いつく欲求のままに試行錯誤を繰返しながらいつのまにか解決してしまう方法、センター職員へ電話で受け渡してしまう方法、質問者も巻き込んで一緒にマニュアルや広報を探してもらう方法...と様々です。

今回は皆さんが質問に来る時、また来た時の相談員への対処の仕方を教えちゃいましょう。まず、お願いでもあるのですが、最低限、何らかの方法で、計算機にLOGONだけは出来るようになってきて下さいね。「LOGONもわからんよーじゃ 話にならん!!!」といきなり怒られることもありますので...あと、すぐく早口で一方向的に説明しまくるというパターンがあります。質問者としては、自分で悪戦苦闘した末、どうしようもなくなって来てるのに、早口で訳のわからないことをつぶやきながら、訳のわからないコマンドを打ち、目が点になってディスプレイを見つめているだけで、あれよあれよと解決されてしまうこともあるかと思えます。こんな時は、「もっとゆっくり、ひとつひとつお願いします!」と多少大きめの声で訴えて下さい。つぶやく程度では、気づいてもらえないと思います。訴えに気づいてもらえれば、懇切丁寧に説明してもらえますよ。少々口が悪いのは我慢して下さいね。ちょっとこわい思いをすることもありますが、めげずに対抗して下さい。もちろん、おだやかに優しく順序よく丁寧に対応してくれる方もちゃんといますので...その時は当たり(!)です。必ず応じてもらえますよね。プロ相のみなさん!

計算機を利用していると、センターに対する要望が出てくると思えます。そういった内容もどしどし聞かせて下さいね。年に2回、センター側とプロ相員との間で、「プログラム相談員連絡会」というものが催され、激しい意見交換が行われています。プロ相員もセンターの利用者です。利用者の代表として、センター側と戦ってくれています。センター側としても、出来るだけ要望に応えようと努力しています⁵。

余談ですが、プロ相同士も固く団結しています⁶。ku-netというメーリングリストでの情報交換、また、2ヶ月おきに懇親会⁷も催されています。これには、プロ相OBも参加して、他学部、他大学との交流等、公私共々お互いに親交を深めあって盛り上がっています⁸。

皆さんも相談員になって、仲間に入りませんか？

¹広報が出るのは7月ですが、原稿執筆時は梅雨です。

²決して建前ではありません。一度センターにいらして、仕事を見学されたら良いと思います。ただし、午後5時を過ぎると皆さん酒を飲んで騒ぎ始めますのでそれ以前にしてください。

³センター内部の政治的取り引きに利用されたため。

⁴人に依ります

⁵が、最近はお金がなくて、予算を組むのに窮々しています。

⁶派閥があるという噂です。実態は定かではありません。但しどこぞの団体のように、ある価値を押しついたりしませんので、誤解しないように。

⁷単なる酒飲みの宴会。

⁸合コンはやっていません。